

未来の地域リーダー育成プログラム事業について

資料 1

▶ 目的

青少年が自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して解決に向けて行動し、意見を表明できる力を備えることにより、将来、地域をはじめ様々な場で活躍する人財を県内各地で育成する。

▶ 事業概要

〔対 象〕 中学生 ※北筑後地域及び久留米では小学生等も参加

〔期 間〕 5日程度（主に合宿型）

〔内 容〕 地域に縁のある企業経営者、各分野で活躍しているリーダー等による
講義・体験活動・グループワーク

〔実施地域〕 9地域 35市町村（令和6年度）



○市町村のプログラムの実施状況

(令和6年度実施(予定を含む))

実施単位	市町村構成(市町村数)	実施予定日	参加者数(人)
田川	田川市、添田町、川崎町、大任町、糸田町、香春町、福智町、赤村(8)	8/17~20	23
嘉飯桂	飯塚市、嘉麻市、桂川町(3)	8/24~25、9/7~8 9/21~22	20
京築	豊前市、築上町、上毛町、吉富町、行橋市、みやこ町、苅田町(7)	11/9~10、11/30~12/1	25
南筑後	大牟田市、柳川市、大川市 みやま市、大木町(5)	8/7~10	31
糸島	糸島市(1)	10/26~27,11/23~24, 12/14,1/19,2/1	13
直鞍	直方市、宮若市、小竹町、鞍手町(4)	9/14~16	14
北筑後	小郡市、大刀洗町、筑前町(3)	通年	15
宗像・福津・古賀	宗像市、古賀市、福津市(3)	8/10~12、8/31~9/1	26
久留米※	久留米市(1)	①11/15,25、 12/4,6,13,19 ②随時 ③9/21、11/23、2/15 ④9/7、12/26	—
合計	(35)		172

※久留米市実施プログラム：①文化芸術リーダー育成事業、②次世代を担うグローバルリーダー育成事業、
③くるめっ子ジュニアICTリーダープログラム事業、④くるめっ子ICT創造リーダープログラム事業
上記①~④の事業は定員(人)及び参加者数(人)合計から除く。

アンケートの実施方法

参加生徒がプログラムを通してどのような点を向上させることができたか把握するため、以下の5項目及び感想等についてアンケートを実施。

5項目アンケート(初日・最終日に実施) ※ひとつの項目に対し4つの質問で構成:4段階評価

項目	共感される力	自己肯定 自己効力感	コミュニケーション	目標達成	考える力
田川	3.57→3.88 (+0.31)	3.10→3.43 (+0.33)	3.22→3.59 (+0.37)	3.10→3.54 (+0.44)	3.20→3.53 (+0.33)
嘉飯桂	3.41→3.76 (+0.35)	3.00→3.19 (+0.19)	3.10→3.41 (+0.31)	3.01→3.59 (+0.58)	3.08→3.46 (+0.38)
京築	3.49→3.71 (+0.22)	2.83→3.07 (+0.24)	3.02→3.42 (+0.40)	2.94→3.28 (+0.34)	2.81→3.24 (+0.43)
南筑後	3.43→3.67 (+0.24)	2.96→3.32 (+0.36)	3.28→3.51 (+0.23)	3.20→3.59 (+0.39)	3.04→3.47 (+0.43)
直鞍	3.35→3.77 (+0.42)	2.88→3.23 (+0.35)	2.96→3.54 (+0.58)	2.94→3.42 (+0.48)	2.65→3.21 (+0.56)
宗像・福津・古賀	3.39→3.76 (+0.37)	2.84→3.30 (+0.46)	3.07→3.47 (+0.40)	3.02→3.59 (+0.57)	3.10→3.46 (+0.36)

【質問例】

- ①共感される力:何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と感謝の言葉を伝える
- ②自己肯定感・自己効力感:自分の長所や強みについてよく分かっている
- ③コミュニケーション:話を聞くときは、目を見て聞き、意識してうなずいて聞いている
- ④目標達成:自分では難しいことは、積極的に誰かに頼ることができる
- ⑤考える力:新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ

【参加生徒の声】

- 今まで分からなかった「自分の強み」が分かってうまく活用できた。今後の目標を決められた。
- PM理論やSL理論を使って、場面によってリーダーシップの使い方を分けて、みんなを引っ張る大切さを学ぶことができました。講師の先生方の講義も分かりやすく、ためになる話が聞けたので参加して良かったです。
- 日本や世界には、いろいろな課題があり、それを解決しようと活動をし、努力している人がいることが分かりました。私も日頃の生活で少し気を配り、工夫をしてその人たちに協力したいと思いました。
- 世界の問題などを知れた。英語の大切さやコミュニケーションの大切さを学びました。コミュニケーションの取り方とかわかったし、すごく人見知りだけど次からはいろんな人に話しかけたい。キャンプ行く気がなかったけど、来てすごくよかったと思ってる。もう一回来たい。
- 話すことが苦手だったけど、「勇気をもって一步踏み出すことが大切」と学んだからそれを意識しながら過ごしたい。

(最終日に行ったアンケートから抜粋)

嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム

「嘉飯桂未来塾」

- ・参加生徒は地域に縁のある著名人等による講義や体験活動、他の中学校の生徒とのグループワークを通じて、志を高め合いながらリーダーとなるための心構えを学んだ。最終日には、グループ発表・個人の目標宣言を行い、6日間を通しての学びを振り返った。

【概要】

○日程

令和6年8月24日（土）～25日（日）	1泊2日
〃 9月 7日（土）～ 8日（日）	1泊2日
〃 9月21日（土）～22日（日）	1泊2日

- #### ○会場
- イイツカコミュニティセンター（飯塚市）、カホアルペ（嘉麻市）
ゆのうら体験の杜（桂川町） ほか

○参加者

嘉飯桂地域（飯塚市、嘉麻市、桂川町）在住の中学2年生 20人

- #### ○講師
- ・古野 隆雄氏（合鴨家族古野農場） / 麻生 泰 氏（九州経済連合会 名誉会長）
 - ・正田 英樹氏（株式会社chaintope 代表取締役）
 - ・青木 俊介氏（九州工業大学情報工学研究院 教授）
 - ・古田 厚子氏（株式会社ASPREAD 代表取締役）

